烏川・神流川流域治水協議会　これまでの取組と今後の取組予定

資料－2

【これまでの取組】

令和3年3月30日	利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）公表
令和3年12月23日	藤岡市防災公園現地視察会
令和4年3月31日	利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）更新・充実化
令和4年8月31日	多段階の浸水想定図・水害リスクマップ（現況）公表
令和5年1月16日	第5回幹事会
令和5年1月31日	第7回協議会 ・規約改定 ・烏川・神流川流域治水プロジェクトのフォローアップ ・高崎市新町防災アリーナ現地視察会のご提案　等

【今後の取組予定】

令和5年2月～（予定）	新町防災アリーナ現地視察会（調整中） 幹事会、協議会（適宜、必要に応じて開催） ・流域治水プロジェクトの指標更新 ・多段階の浸水想定図・水害リスクマップ（短期）公表　等

流域治水プロジェクトの取組状況について（フォローアップ）

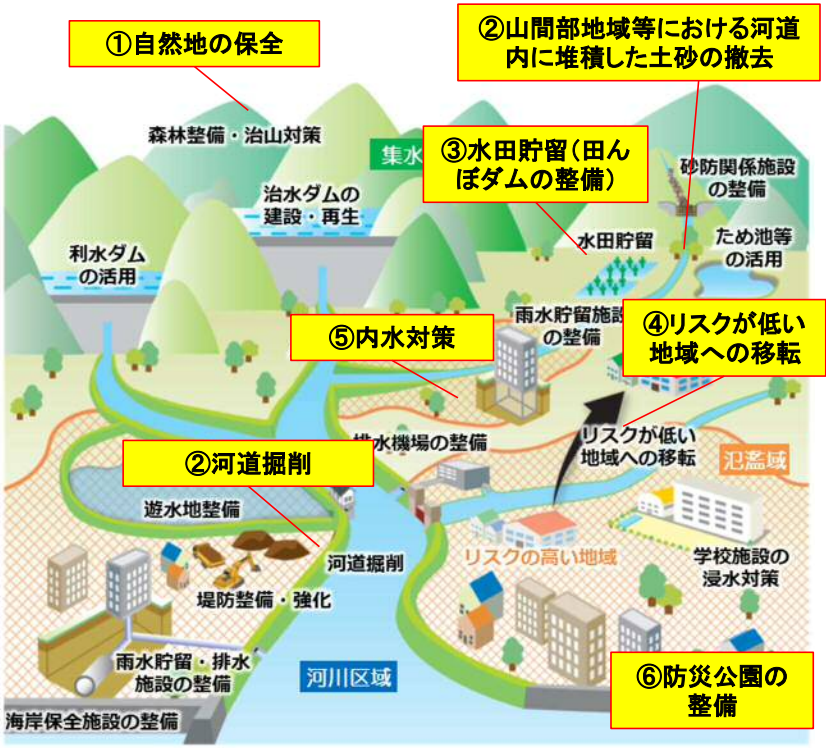
■流域治水プロジェクトにもとづく対策の実施状況のフォローアップにあたり、下記、項目等について、構成員にアンケートを実施。

①現在、実施している対策、今後実施しようとしている対策について
②実施には至っていないが、興味のある対策について
③流域治水推進に関して、課題に感じていることについて
④発生土砂等の利用方法について

■フォローアップ結果

①現在、実施している対策、今後、実施しようとしている対策について
➢構成機関の実施事例を収集し、流域治水プロジェクトおよび対策事例に反映した。

②実施には至っていないが、興味のある対策について
➢下記の6項目の対策が挙げられた。
①自然地の保全
（荒廃森林の整備、砂防堰堤による土砂流出防止）
②山間部地域等における河道内堆積土砂の撤去
③田んぼダム
④リスクが低い地域への移転（高台整備や家屋移転）
⑤内水対策
⑥防災公園の整備
➢これらの取組については、補助制度や他機関の取組などの情報提供等を行い、対策の具体化を図る。



流域治水プロジェクトの取組状況について（フォローアップ）

③流域治水推進に関して、課題に感じていることについて

➢下記項目が挙げられた。そのうち、水害リスク情報不足、水害リスクを踏まえた街づくりとなっていないといった意見が約4割となっていた。

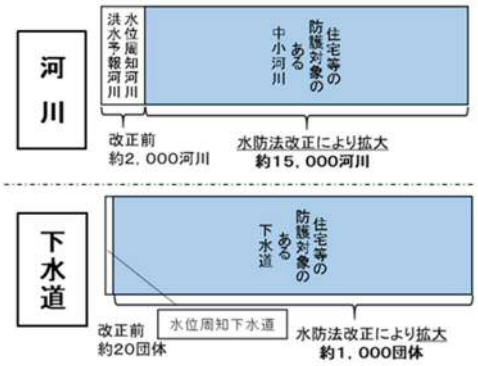
- 水害リスク情報が不足、水害リスクを踏まえた街づくりとなっていない（43%）
- 河川・下水道対策が不足（22%）
- 浸水被害が頻発 （14%）
- 流出抑制対策が不足（7%）
- その他（14%）

※パーセンテージは全体回答数に対する各項目の割合

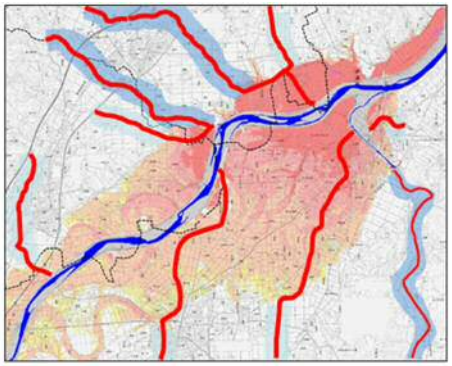
→ダム操作とダム下流の水害リスクについて
→林業労働力の減少
→地球温暖化防止吸収源対策
→ゲリラ豪雨等の影響による山地災害への対応　など

➢引き続き、水害リスク情報の充実として、浸水想定区域図・ハザードマップの空白域の解消、水害リスクマップ（浸水頻度図）の整備）の整備を図る。

浸水想定区域図、ハザードマップの空白域の解消



浸水想定区域（洪水及び雨水出水）の指定対象数



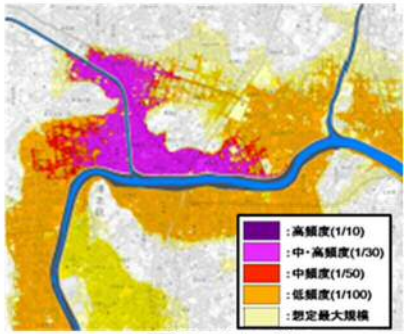
指定対象河川の拡大イメージ

水害リスクマップ（浸水頻度図）

○　多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0cm以上、50cm以上、3m以上）に重ね合わせて作成した図面。

○　多段階の浸水想定図と同様に、河川整備の状況に応じて、現況（R3.5月末時点）、短期（R7年度末）等で作成。

○　今回公表する図は、直轄区間からの外水氾濫のみを対象。



図のイメージ

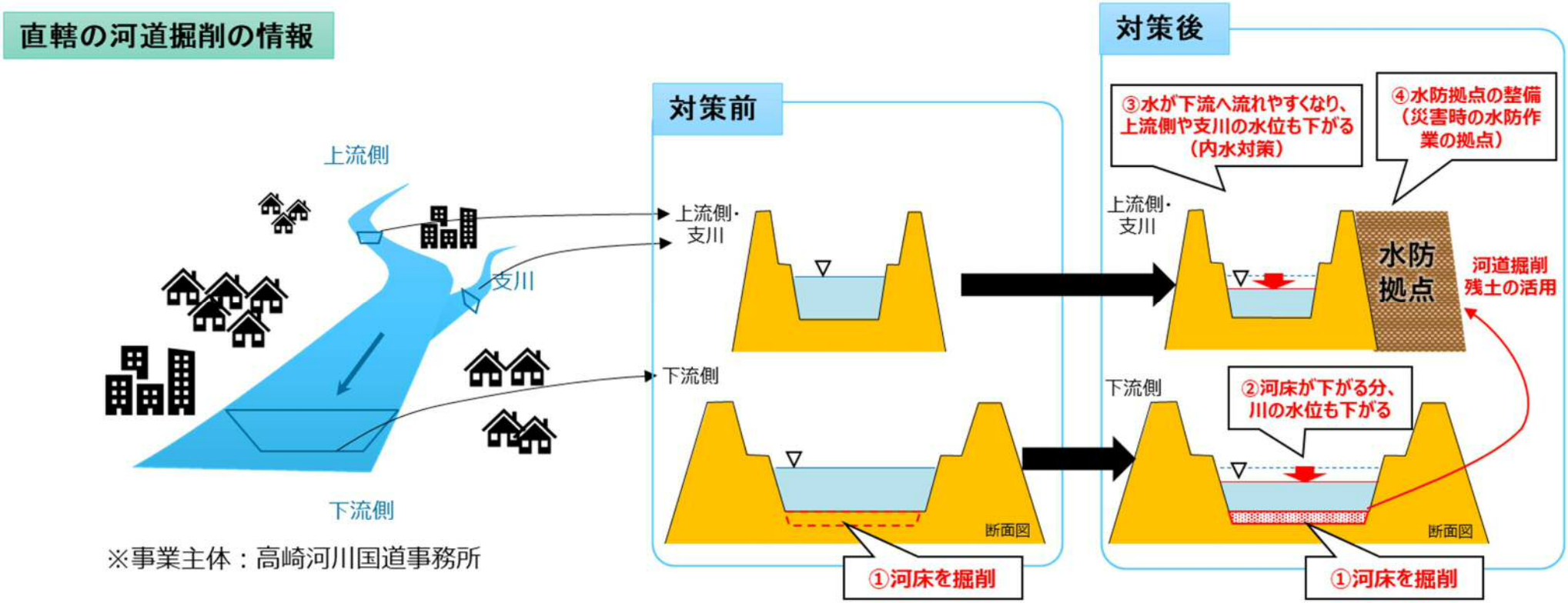
流域治水プロジェクトの取組状況について（フォローアップ）

④発生土砂等の利用方法について

➢発生土砂等の利用方法について、約9割の構成員が土砂処分に困っている。

➢烏川においては、今後、河道掘削に着手する予定であり、各事業が連携し配土調整することでコスト縮減を図りながら、当該流域一体となった防災・減災の推進を目指す。

➢引き続き、協議会構成員からの意見や課題等を吸い上げ、連携しながらの実施に向けて関係者と調整を図る。
例：土砂発生・必要情報を共有するメーリングリストの作成　等



※事業主体：高崎河川国道事務所

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【位置図】（烏川・神流川区間）

R3.3策定
R5.1更新

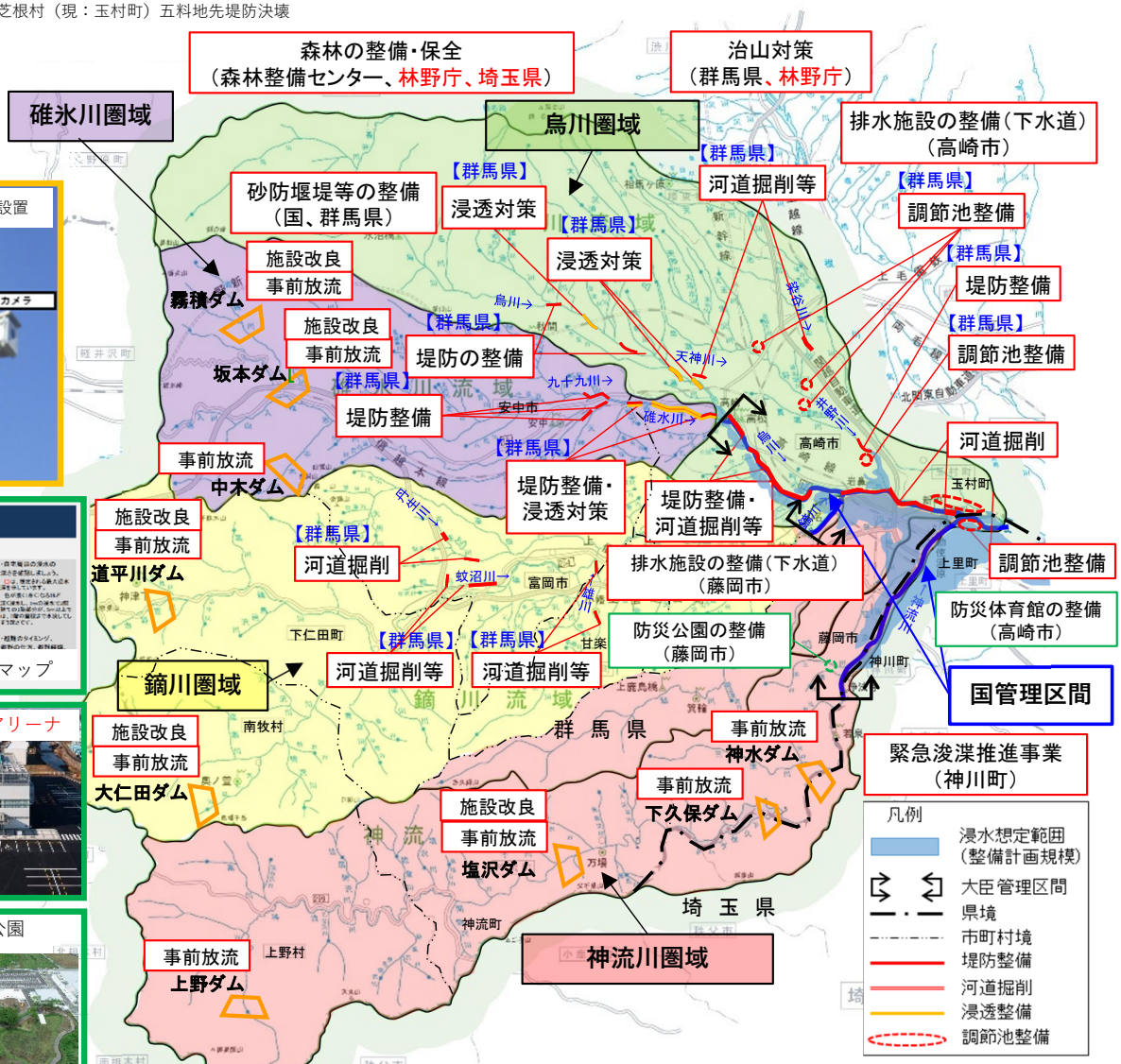
～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、1都5県にまたがり、首都圏を擁した関東平野を流域として抱える利根川・江戸川においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、利根川本川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月カスリーン台風と同規模の洪水に対して資産の集中する首都圏中枢部での越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

④＜烏川･神流川区間＞

令和元年10月　鏑川（富岡市桐渕）

＜Ｓ２２．９カスリーン台風＞
烏川左岸 利根川合流点付近
芝根村（現：玉村町）五料地先堤防決壊



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策（堤防整備、調節池、河道掘削、ダム等の改良・維持補修、利水ダム等の事前放流等の実施　等）
- 砂防堰堤等の整備（いのちとくらしを守る土砂災害対策）
- 内水氾濫対策（下水道等の排水施設の整備）
- 流出抑制対策（雨水貯留施設の設置に関する条例の制定）
- 流域の雨水貯留機能の向上（防災調節池の整備、森林整備・保全、治山対策）

●被害対象を減少させるための対策

- 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫（宅地開発等に関する指導要綱の制定）
- まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実（内水氾濫マップの作成、河川監視カメラの設置）

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 防災公園及び防災体育館の整備
- ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- 避難体制等の強化（水防倉庫の設置及び資機材の配置、水防資機材の配置）
- 情報発信の強化（河川監視カメラの設置、洪水時におけるホットライン、想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの普及・啓発）
- 早期復旧の体制強化（排水ポンプ車の運用、自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施）
- 住民の主体的な避難行動を促す取組

●グリーンインフラの取り組み　　詳細次ページ

※氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には、危機管理対策等は含まれていない。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【位置図】

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

●グリーンインフラの取り組み　『～首都圏近郊における多種多様な生物の生息・生育環境の保全・再生～』

○利根川・江戸川の自然環境は、長い年月をかけ、渓谷、湿地、礫河原、湖沼、干潟、ヨシ原等の多様な環境を形成してきたが、攪乱頻度の減少や外来種の侵入等により一部の区間では特定の動植物が繁殖し、在来種の確認数が減少している。また、高水敷の乾燥化等により、植生が単調化する等の環境の変化が懸念されている。また、河川空間は、地域の実情にあわせ、魅力と賑わいのある水辺空間の創出が望まれており、多様な利用がなされている。

○国際的な絶滅危惧種であるオオセッカやコジュリンの繁殖・越冬やヒヌマイトトンボの生息など多様な生物の生息・生育場を保全再生するため、令和７年度までにヨシ原、干潟、湿地の整備による生物の生息環境の保全・再生をするなど自然環境が有する多様な機能を生かすグリーンインフラの取組を推進する。

●自然環境の保全・復元などの自然再生

- 湿地再生
- 生物の多様な生育環境の保全・創出
- 魚道整備

● 自然環境が有する多様な機能活用の取組み

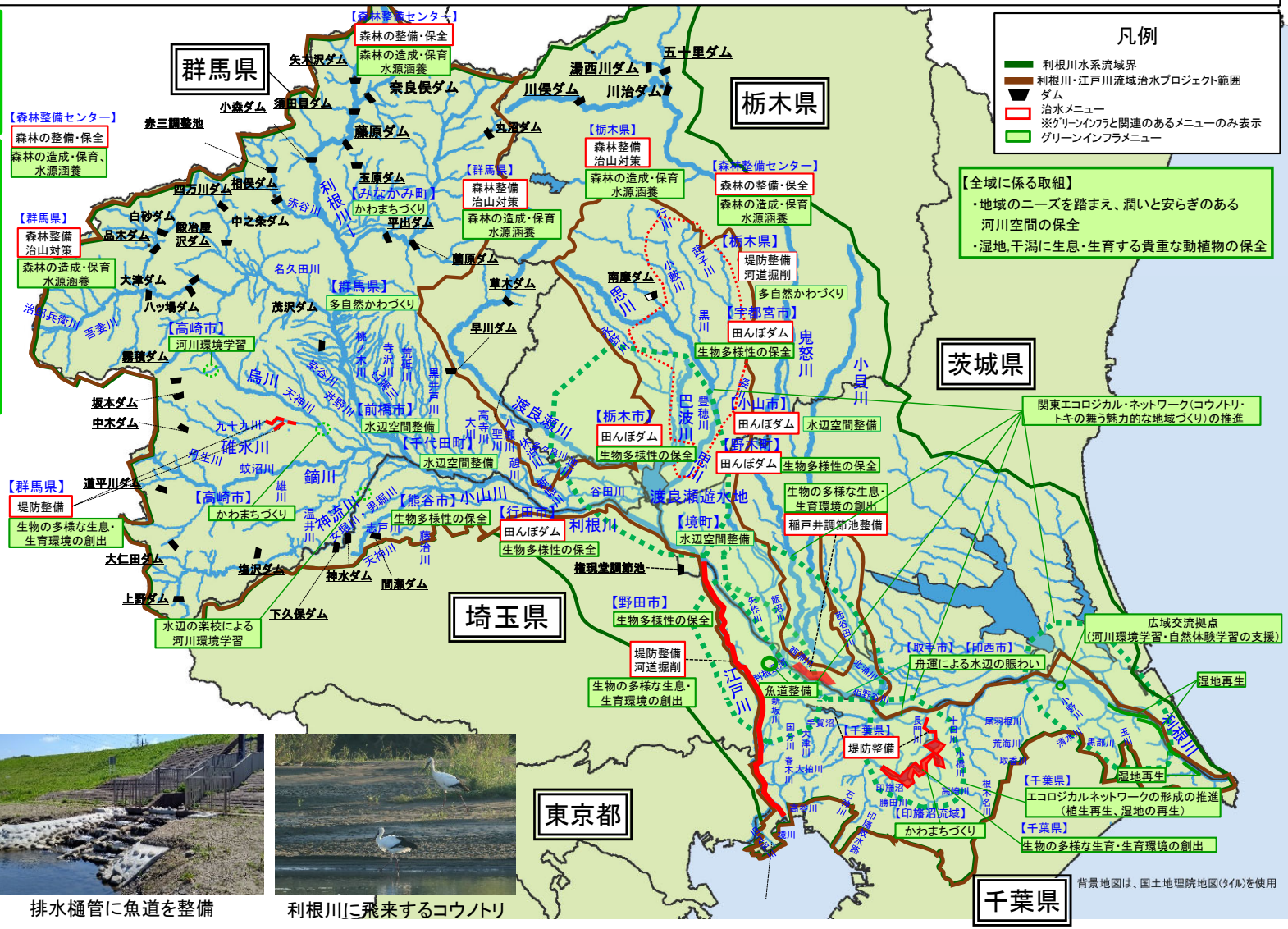
- エコロジカル・ネットワークの推進
  （コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり）
  （植生再生、湿地の再生）
- 水田を利用した、田んぼダムや冬期湛水
- 森林の造成・保育、水源涵養
- 官民協働による水質、水田生物の調査
- 河川環境学習
- 自然体験学習の支援
- 舟運による水辺の賑わい

●治水対策における多自然川づくり

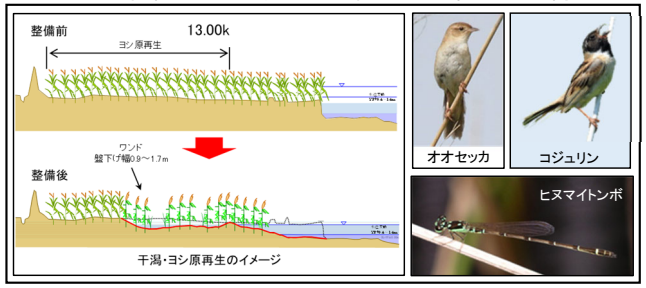
- 生物の多様な生息・生育環境の創出
- 緑化によるうるおいのある水辺空間の創出
- 植生帯整備

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

- かわまちづくり
  （高崎市・みなかみ町・印旛沼流域）



絶滅危惧種等を含む多様な生物の生息環境保全・創出



排水樋管に魚道を整備

利根川に飛来するコウノトリ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ】（烏川・神流川区間）

R3.3策定
R5.1更新

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

● 烏川・神流川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　　期】 河川の治水安全度を向上するため、烏川上流部の堤防整備を完成させる。また、宅地開発等の指導要綱の制定や防災公園の整備を完了させる。

【中　　期】 河川、下水道及び森林の整備を促進する。

【中 長 期】 土砂災害対策、調節池の整備や河道掘削等を完成させ流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容		実施主体	工程 短期	工程 中期	工程 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水を安全に流す対策	堤防の整備	国・群馬県	烏川上流堤防整備完了		
		河道掘削	国・群馬県		烏川中・上流部河道掘削完了	
	洪水を貯める対策	調節池の整備	国・群馬県・安中市			烏川調節池完了
		利水ダム等の事前放流	国・群馬県・安中市等			
	内水氾濫対策	雨水排水網の整備	高崎市・藤岡市			
	砂防堰堤等の整備	いのちとくらしを守る土砂災害対策	国・群馬県			
	流域の雨水貯留機能の向上	森林整備・保全・治山対策	国・群馬県・埼玉県 森林研究・整備機構森林整備センター			
被害対象を減少させるための対策	宅地開発等に関する指導要綱の制定		高崎市・藤岡市・富岡市・甘楽町・上里町			
	内水氾濫マップの作成・河川監視カメラの設置		玉村町			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップの策定・周知		高崎市・藤岡市・玉村町・上里町・神川町・安中市・下仁田町・富岡市	自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施		
	防災公園及び防災体育館の整備		藤岡市・高崎市		防災公園・防災体育館整備完了	

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

●グリーンインフラの取組
次ページ

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。　※ ■■■：対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの取組	湿地再生	国			
	魚道整備	国			
	生物の多様な生息・生育環境の創出	国・千葉県・群馬県・栃木県・小山市			
	生物多様性の保全	熊谷市・野田市・宇都宮市・栃木市・小山市・野木町・行田市			
	広域交流拠点	国・千葉県・香取市			
	水辺空間整備	前橋市・小山市・千代田町・境町			
	かわまちづくり	高崎市・みなかみ町・印旛沼流域			
	緑化によるうるおいのある水辺空間の創出	東京都			
	森林の造成・保育、水源涵養	栃木県・群馬県・森林整備センター			
	エコロジカル・ネットワークの推進 （コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり） （植生再生、湿地の再生）	国・各県・各市町			
	河川環境学習	国・市川市・鎌ケ谷市・高崎市			
	舟運による水辺の賑わい	取手市・印西市			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）

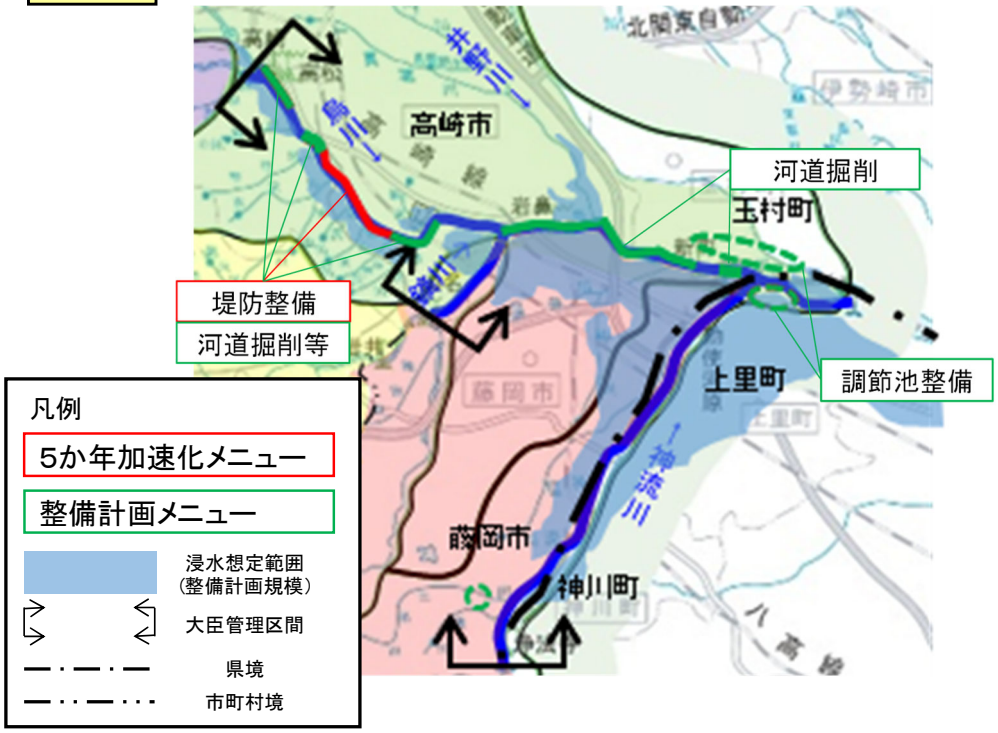
進捗と効果（R5.1版）

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

〇烏川上流右岸無堤部の堤防整備を令和7年度までに完了することで、高崎市根小屋町において浸水被害の軽減を図る。

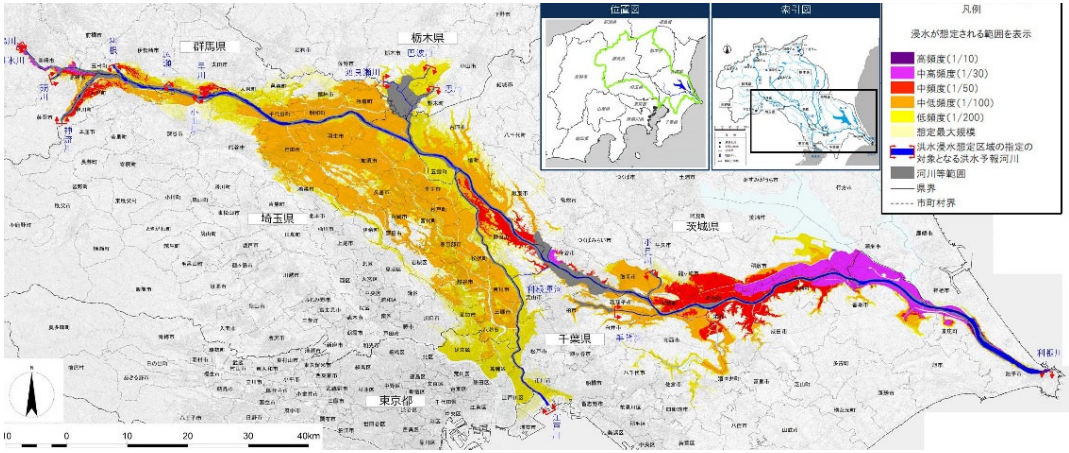
短期整備（5カ年加速化対策）効果（利根川・江戸川）： 河川整備率 約52%→約61% （整備計画規模） ※利根川・江戸川流域治水プロジェクト全体

位置図



現状

R3.5末



短期

R8.3末

作成中

スケジュール

対策内容		工程		
		短期	中期	中長期（～R24）
洪水を安全に流す対策	堤防の整備	烏川上流堤防整備完了		
	河道掘削			
洪水を貯める対策	調節池の整備			

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

更新予定

- 戦後最大洪水等に対応した河川の整備：整備率：61%（概ね５か年後）
- 農地・農業用施設の活用：9市町村（令和３年度末時点）
- 流出抑制対策の実施：1,276施設（令和２年度実施分）
- 山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策：治山対策等の実施箇所 120箇所（令和３年度実施分）／砂防関係施設の整備数 4施設（令和３年度完成分）
- 立地適正化計画における防災指針の作成：2市町村（令和３年12月末時点）
- 避難のためのハザード情報の整備：洪水浸水想定区域 103河川（令和３年12月末時点）／内水浸水想定区域 7団体（令和３年11月末時点）
- 高齢者等避難の実効性の確保：避難確保計画 洪水 6,875施設／土砂 261施設（令和３年９月末時点）／個別避難計画 70市町村（令和４年１月１日時点）

※下線は利根川水系流域全体での集計値

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

烏川上流築堤事業

現在、無堤部となっている烏川上流において、築堤を実施し治水安全の向上を図る。

水源林造成事業による森林整備・保全

奥地水源地域の民有保安林を整備し、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る。

間伐実施前

間伐実施後

被害対象を減少させるための対策

玉村町　内水氾濫マップの作成・河川監視カメラの設置

（豪雨や台風時における河川周辺住民の適切な避難判断を促すため、過去に浸水被害が発生した箇所に監視カメラを設置し、浸水状況をリアルタイムで確認する（HPに形成）ことで早期避難を促し、被害を未然に防ぐ）

設置したカメラ

河川名	烏川
局名	五料矢川樋管
撮影周期	5分
監視状態	監視中
所在地	佐波郡玉村町大字五料

ＨＰに掲載しているカメラの画像及び稼働状況

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

藤岡市防災公園の整備

（大規模災害時には仮設住宅の設置や支援物資の集配拠点として、平常時には市民の憩いの場として活用するため、大規模災害時の復旧・支援の活動拠点として整備　4.1ha）

高崎市新町防災アリーナの建設

洪水浸水想定区域が広がる新町地域の緊急避難対策として建設

■各構成員の取組状況：各対策のバーチャート

■各対策のバーチャート　【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（鳥川・神流川区間）】

対策区分	実施主体	短期 直ちに検討、必要な対策を調整のうえ実	中期 短期的に検討、必要な対策を調整のうえ実	中長期 継続して検討、必要な対策を調整のうえ実
1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策				
(1)洪水氾濫対策				
①堤防整備、ダム建設・再生等の加速化	国 県 市 町			
②「粘り強い堤防」を目指した堤防強化	県			
(2)内水氾濫対策				
①都市浸水対策の強化 （下水道浸水被害軽減総合事業の拡充等）	市 町			
(3)土砂災害対策				
①いのちとくらしを守る土砂災害対策	国 県			
(4)流水の貯留機能の拡大				
①利水ダム等による事前放流の更なる推進 （協議会の創設等）	国 県 市 民間			
(5)流域の雨水貯留機能の向上				
①流域の関係者による雨水貯留浸透対策の強化 （貯留機能保全区域の創設、 雨水貯留浸透施設整備の支援制度の充実 ）	県 市 町			
② 森林整備、治山対策	国 県			
③雨水貯留浸透施設の整備 （民間企業等による整備、未活用の国有地の活用）	市 町			
2.被害対象を減少させるための対策				
(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫				
①リスクが高い区域における立地抑制、移転誘導 （浸水被害防止区域の創設）	市町			
(2)まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実				
①開発の規制や居住の誘導に有効な 多段階な浸水リスク情報の充実	国市町			
3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策				
(1) 避難体制等の強化				
①ハザードマップやマイ・タイムライン等の策定	市 町			
②学校及びスポーツ施設の浸水対策による 避難所機能の維持	市 町			
③排水計画及び訓練の実施	国 県 市 町			
④情報発信強化と防災教育の推進	国			
(2)関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化				
①被災自治体に対する支援の充実 （権限代行の対象を拡大し、 準用河川、災害で堆積した土砂の搬去を追加）	町		－	－
②鉄道構造物の災害対策強化	民間			

赤字：更新箇所

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：高崎河川国道事務所】

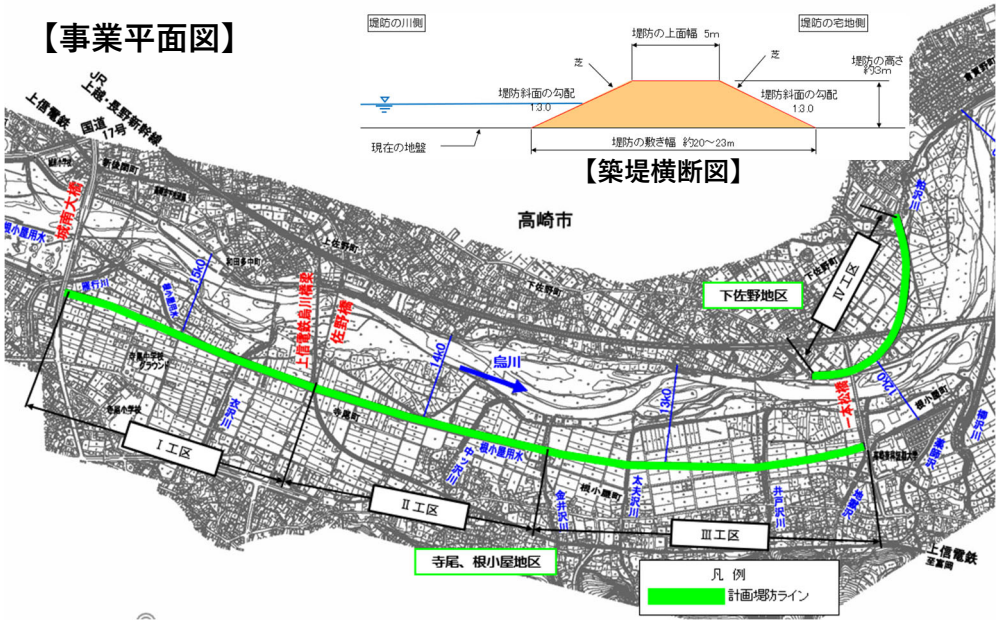
『烏川上流築堤事業』

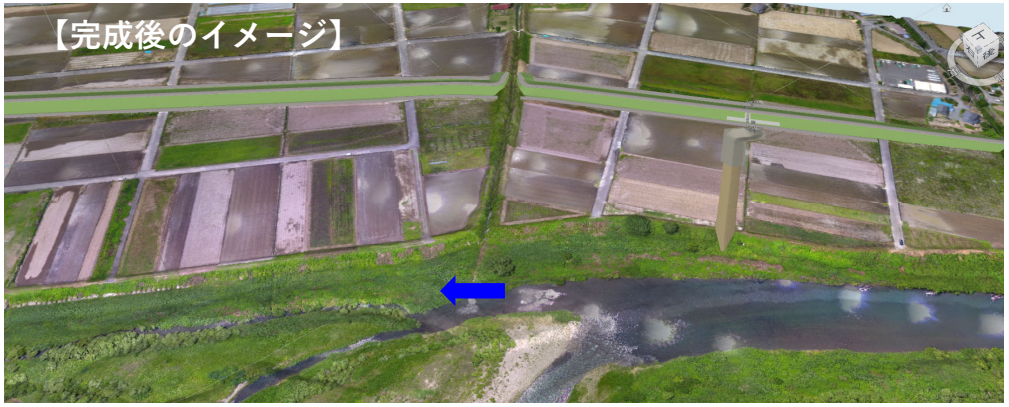
1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

（1）洪水氾濫対策

①堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類





■取組の概要

1．目的

現在、無堤部となっている烏川上流地区において、築堤を実施し治水安全の向上を図る。

2．規模・構造

築堤　L=3.2km

3．実施場所

高崎市寺尾町及び根小屋町地先

4．取組実施により期待すること

築堤により洪水による被害を軽減する。

5．今後の展開

築堤完了後、河道掘削に着手し、さらなる治水安全度の向上を図る。

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：群馬県】

『碓氷川河川改修事業』

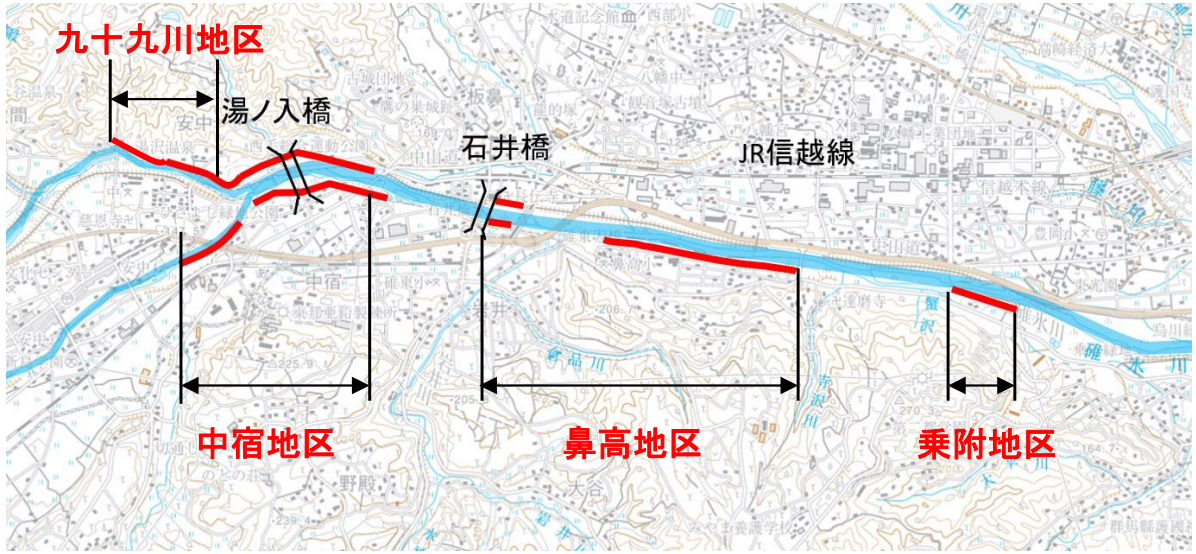
1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

（1）洪水氾濫対策

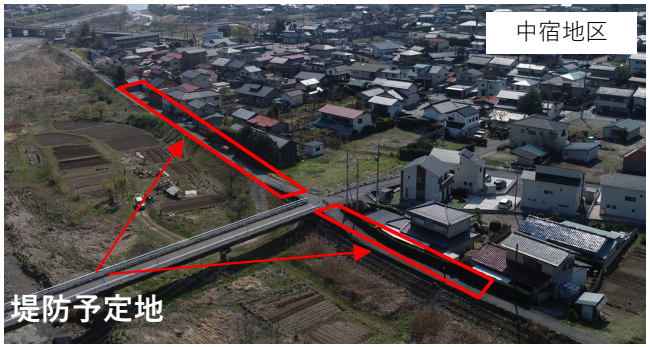
①堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■事業位置



【整備イメージ】



【実施状況】

■取組の概要

1．目的

（一）碓氷川における堤防高不足箇所や無堤部において堤防を整備することで、氾濫をできるだけ減らします。

2．事業内容

・乗附地区（高崎市乗附町地先）

築堤：L=300m

・鼻高地区（高崎市鼻高町地先）

築堤：L=2,200m

・中宿地区（安中市中宿町地先）

築堤：L=1,650m

・九十九川地区

築堤：L=1,000m

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：群馬県】

『ダムの堰堤改良事業』等

1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
（1）洪水氾濫対策
①堤防整備、ダム建設・再生等の加速化
(4)流水の貯留機能の拡大
①利水ダム等による事前放流のさらなる推進

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

【対象ダム位置図】

■取組の概要

1．目的

ダムでの洪水調節機能を継続して発揮させていくため、長寿命化計画に基づき放流及び取水設備等の維持修繕・改良を実施し、ダム施設の信頼性を確保する。

また、ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用するため、事前放流により一時的に洪水を調節するための容量を確保する。

2．実施ダム

以下の５ダムを対象とする。

霧積ダム　（安中市松井田町坂本地先）
道平川ダム　（甘楽郡下仁田町南野牧地先）
坂本ダム　（安中市松井田町坂本地先）
塩沢ダム　（多野郡神流町塩沢地先）
大仁田ダム　（甘楽郡南牧村大仁田地先）

3．堰堤改良の主な内容

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：神川町】 完了

『緊急浚渫推進事業』

1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

（1）洪水氾濫対策

①堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

【実施前】

【実施後】

■取組の概要

1　現状

町内の町管理河川は、小規模河川が多く、また急峻河川であることから、下流部の土砂の堆積が著しい。

こうしたことから、令和元年10月の台風19号では、堆積土が河積阻害を引き起こし、金鑽川の越水を始め、普通河川から町道や県道への土砂流出が相次いだ。

2　対策

町内の河川内に堆積した土砂の撤去及び支障樹木の伐採を実施し、河積阻害を解消することで、治水安全度の向上を図るものである。

3　対象河川

工区	対象河川
その１	金鑽川
その２	行人沢・とらすく坊沢
その３	柳池沢・上サ前沢・根際沢・政久保沢・池尻川
その４	幹沢川
その５	坊沢・平沢・小倉沢・中の沢
計	１３河川

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：利根川水系砂防事務所】

『利根川上流域における直轄砂防事業』

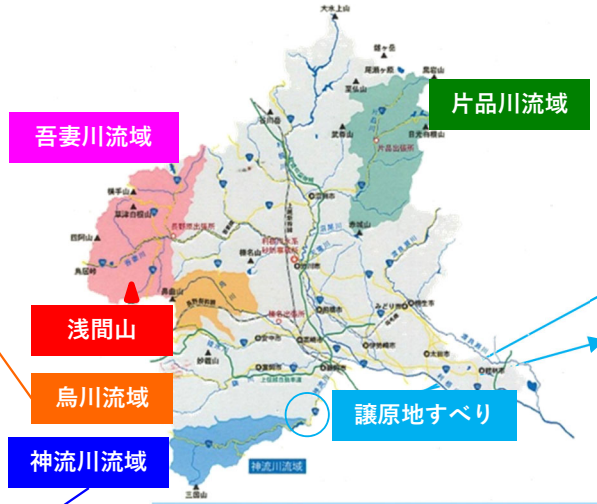
1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

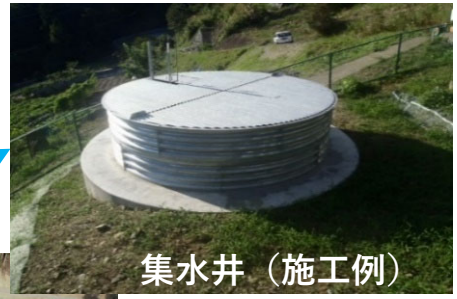
（3）土砂災害対策

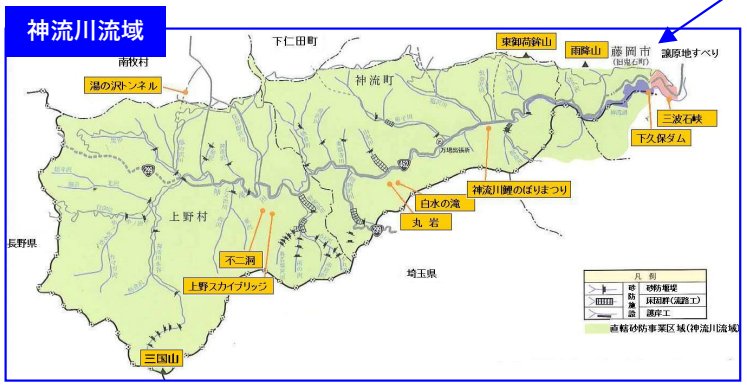
①いのちとくらしを守る土砂災害対策

【取組の概要】

・砂防堰堤等の整備により、「いのち」を守ることに加え「くらし」に直結する基礎インフラを保全すべく土砂災害対策を推進する。







烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村

群馬県

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：森林整備センター】 更新

『水源林造成事業による森林の整備・保全』

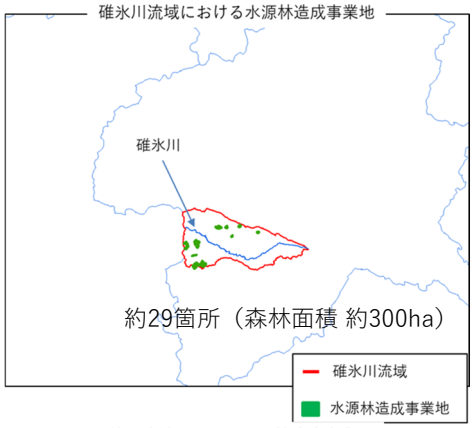
1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

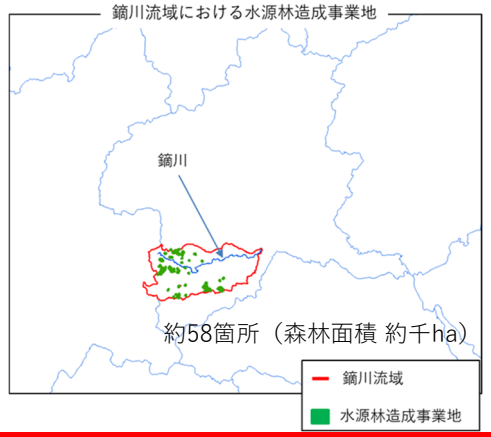
（5）流域の雨水貯留機能の向上

②森林整備、治山対策

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
・全流域における水源林造成事業地は、約194箇所（森林面積 約2900ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。





水源林の整備

針広混交林

育成複層林

森林整備実施イメージ

間伐実施前

間伐実施後

烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村

林野庁、埼玉県

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：甘楽町】

『歩道の透水性確保』

1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

（5）流域の雨水貯留機能の向上

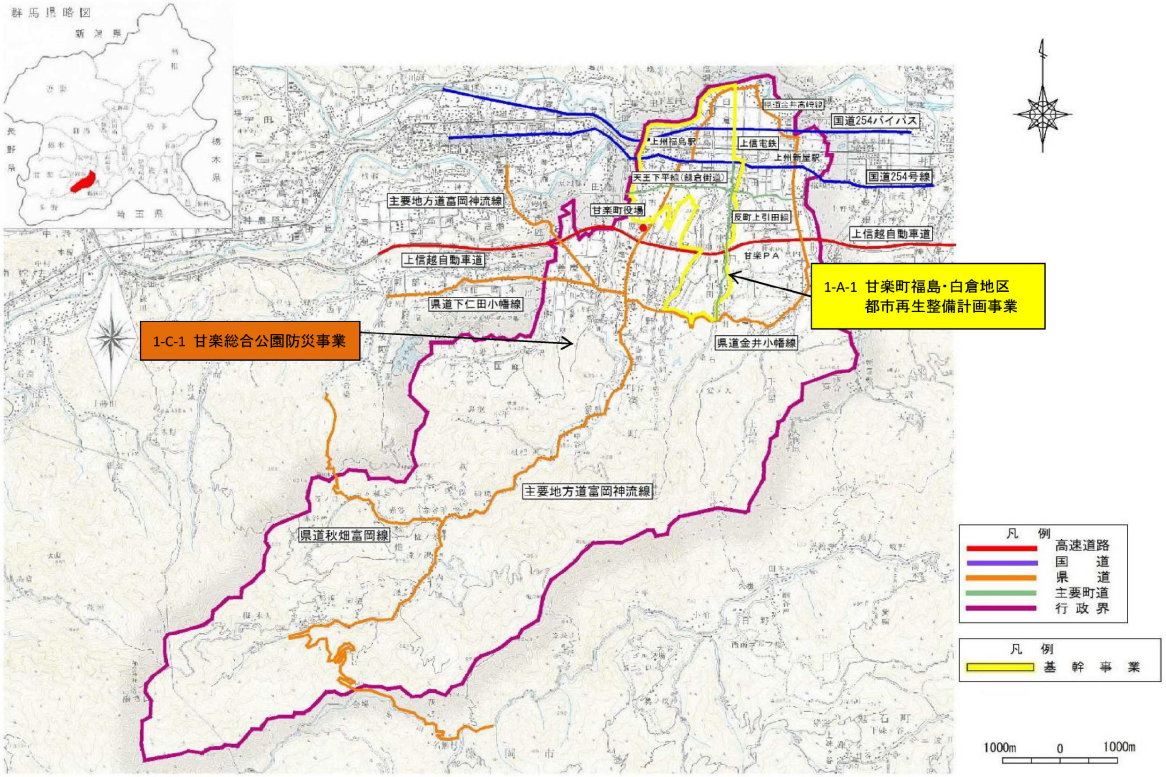
③雨水貯留浸透施設の整備（民間企業等による整備、未活用の国有地の活用）

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

【取組の概要】

・甘楽町では、交通の利便性や安全性、歩行環境の向上による安全で住みやすい地域づくりを目指し、歩道そのものの安全性・安心感を高めるため透水性舗装を行っています。歩道の透水性を確保することで、下水道等への雨水流入も抑制されます。

整備位置



整備写真

烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村

高崎市、藤岡市、安中市、玉村町

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：上里町】

更新

『立地適正化計画の策定検討（防災指針の策定）』

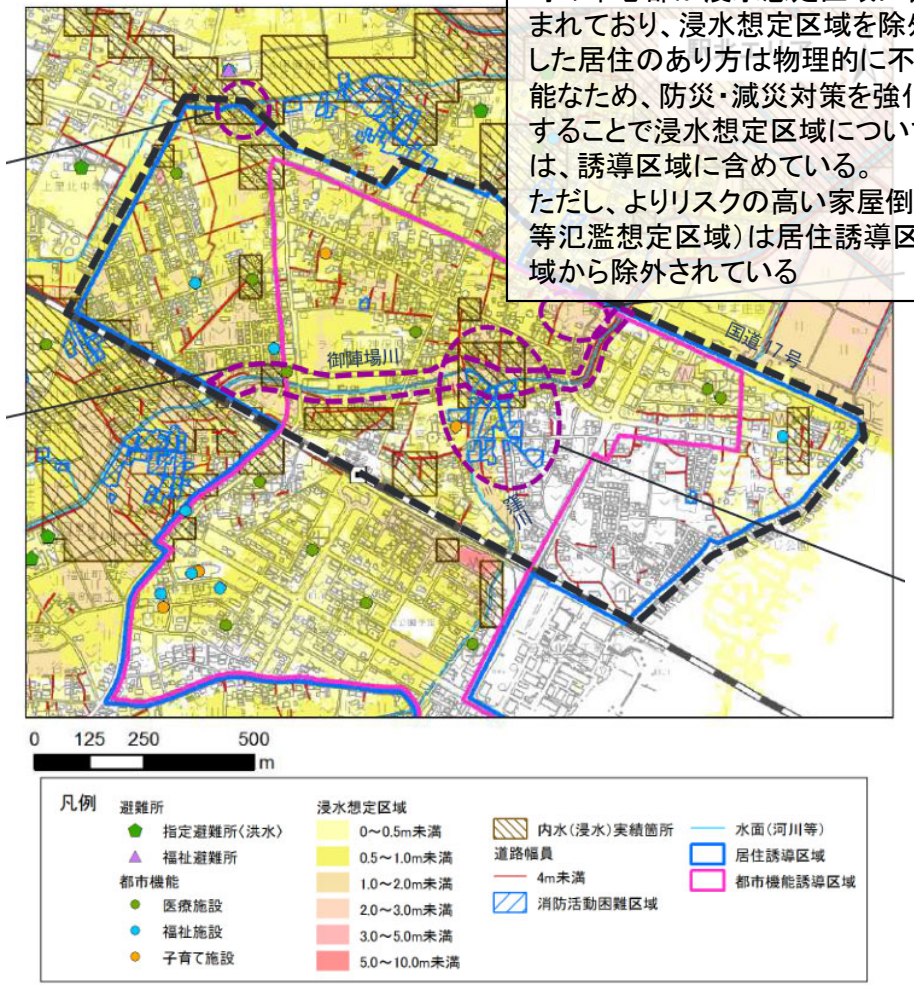
2.被害対象を減少させるための対策

(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫

①リスクが高い区域における立地抑制、移転誘導（浸水被害防止区域の創設）

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

災害リスクの分析



町の中心部が浸水想定区域に含まれており、浸水想定区域を除外した居住のあり方は物理的に不可能なため、防災・減災対策を強化することで浸水想定区域については、誘導区域に含めている。
ただし、よりリスクの高い家屋倒壊等氾濫想定区域）は居住誘導区域から除外されている

■取組の概要

1. 基本方針

頻発・激甚化する水・土砂災害への対応として、防災・減災の観点を取入れたまちづくりを加速化させる必要がある。立地適正化計画において、コンパクトで安全なまちづくりを推進するにあたり、居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる、居住誘導区域の防災・減災対策を「防災指針」として示します。

2. 取組内容

・災害リスク分析と課題の抽出（外水・内水）

・家屋倒壊等氾濫想定区域の居住誘導区域からの除外

・居住誘導区域内の浸水想定区域に対する具体的な防災・減災の取組方針（施策）とスケジュールの策定

3. 取組実施により期待されること

家屋倒壊等氾濫想定区域が居住誘導区域から除外されることによりリスクが高い区域での立地抑制が期待される。

烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村

富岡市

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：玉村町】 完了

『河川監視カメラシステム設置事業』

2.被害対象を減少させるための対策

（2）まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実

①開発の規制や居住の誘導に有効な多段階な浸水リスク情報の充実

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■取組の概要

1． 目的

過去に浸水被害が発生した箇所に監視カメラを設置し、浸水状況をリアルタイムで確認することで早期避難を促し、被害を未然に防ぐ。

2． 規模・構造

取得された画像データをデータベース化し、ブラウザで閲覧可能。

3． 実施場所

玉村町大字五料地内（矢川樋管付近）

4． 取組実施により期待すること

本システムを広く町民に周知することにより、豪雨や台風時における河川周辺住民の適切な避難判断を促す。

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：上里町】

『ハザードマップ』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

（1）避難体制等の強化

①ハザードマップやマイ・タイム・ライン等の策定

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■対策の概要

1．目的

国・県が発表する「想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域」に基づきハザードマップを策定、周知することで、水害による被害の軽減を図る。

2．実施場所

上里町内　全世帯毎戸配布

3．取組実施により期待すること

このハザードマップは、地図情報の他に、災害や避難に関する知識や各種災害に対応した対策などの学習情報を追加し災害に対する備えを平時から準備することの大切さを伝え、防災意識の高揚に繋げる。

4．今後の展開

令和３年度には、避難基準の見直しによる最新の情報やマイタイムラインの様式、感染症対策など盛り込み、リニューアルを予定。

同時に外国語版（英語、ポルトガル語）を作成予定。

烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村

高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、玉村町、下仁田町、上野村、神川町

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：甘楽町】

『土砂災害ハザードマップ』

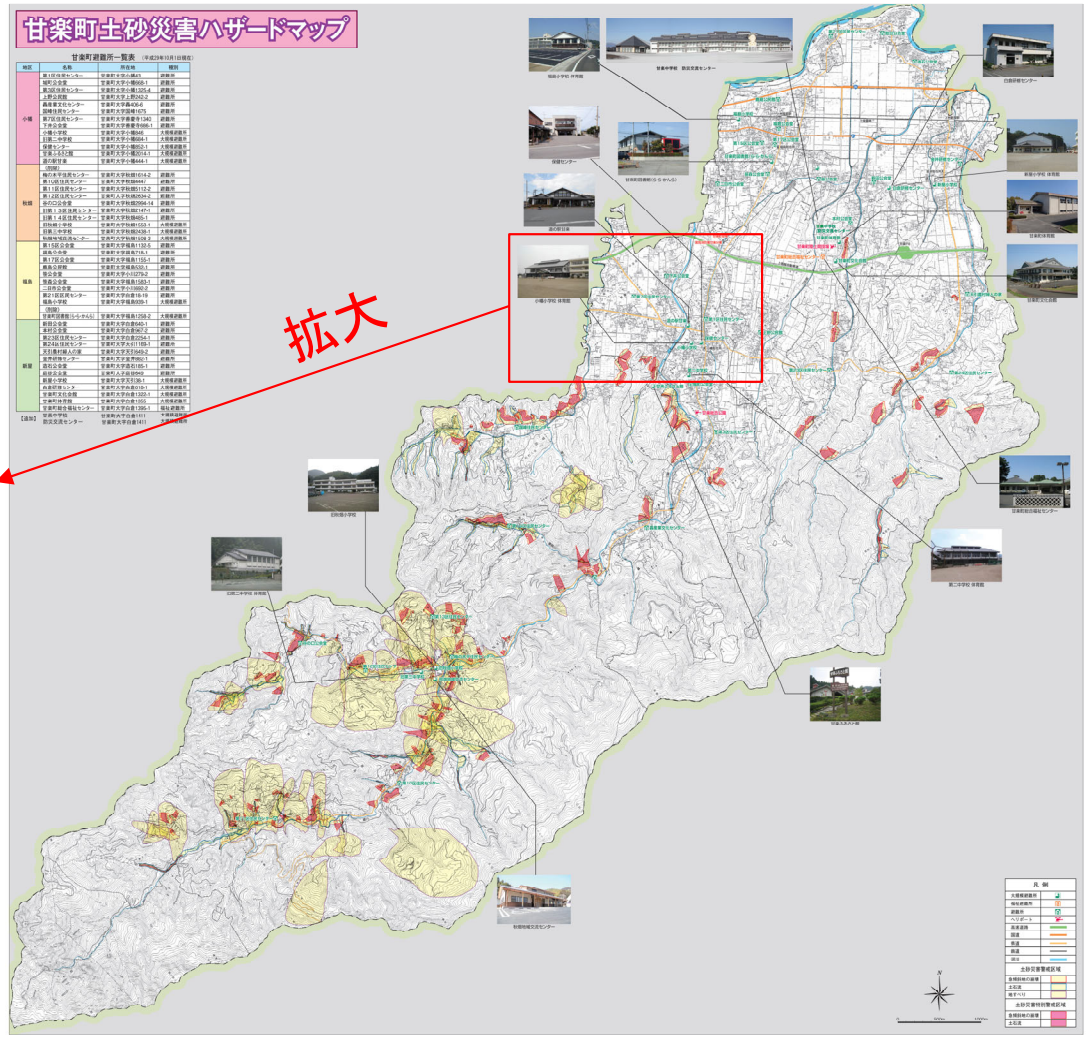
3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

（1）避難体制等の強化

①ハザードマップやマイ・タイム・ライン等の策定

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

甘楽町では、地図に避難所と土砂災害警戒区域を明示した土砂災害ハザードマップを公開しています。



烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村

高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、下仁田町、神流町、南牧村、上野村、神川町

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：藤岡市】 完了

『防災公園整備事業』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

（1）避難体制等の強化

②学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

藤岡市防災公園（完成後）

■対策の概要

1．目的

大規模災害時に復旧・支援の活動拠点として整備。

2．規模・構造

総面積：4.1ha

3．実施場所

群馬県藤岡市神田1538

4．取組実施により期待すること

大規模災害時には仮設住宅の設置や支援物資の集配拠点として、平常時には市民の憩いの場として活用する。

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：高崎市】 完了

『新町防災アリーナの建設』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

（1）避難体制等の強化

②学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

新町防災アリーナ（完成後）

■対策の概要

- 洪水浸水想定区域が広がる新町地域の緊急避難対策として建設
- 屋上部にヘリポートと備蓄倉庫を設置
- 地上から屋上部まで移動可能なスロープを設置

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：高崎市】

更新

『排水ポンプ車の運用』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

（1）避難体制等の強化

③排水計画及び訓練の実施

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■対策の概要

台風や集中豪雨時における浸水被害を軽減することを目的として採用。

【高崎市】

・3台体制（11t車：1台、8車：2台）

・毎年出水期前に排水作業訓練を実施し、円滑な運用体制を構築する。

烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村

高崎河川国道事務所、群馬県

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：群馬県高崎市、藤岡市、富岡市、安中市】

『ため池ハザードマップの策定』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

（1）避難体制等の強化

①ハザードマップやマイ・タイム・ライン等の策定

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

➢ 局所的な大雨などにより、老朽化したため池が決壊するなど、全国各地で被害が発生している状況を踏まえ、浸水想定区域を地図化するため池ハザードマップの作成により、災害発生時の地域住民の迅速かつ的確な避難誘導を可能とし、人的被害を軽減する。

【ため池とは】

農業用水を確保するために水を貯え取水できるように、人工的に造られた池

【ため池ハザードマップ】

ため池が決壊した場合の浸水被害範囲を記載した地図。災害発生時に迅速・的確な避難を行うため、避難場所などの情報も図示されている。

群馬県内にあるため池

管理者によるため池の点検

水害への取り組み事例

①ため池ハザードマップを作成
②地元説明会（ワークショップ）を実施し、
ため池決壊等による水害リスクの周知や
避難ルートの確認を実施

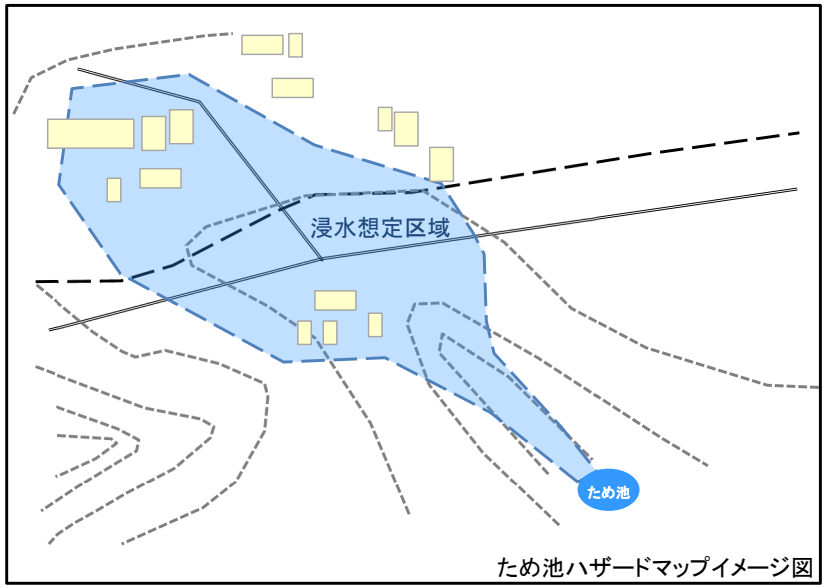
ため池ハザードマップ説明会の様子

◆水害リスク考慮のポイント

決壊により貯水量全量が下流に流れることを想定し、浸水想定区域を解析。水深、流速等から歩行不可能、困難、可能な範囲を図示し、避難ルート確認に活用。

【作成イメージ】

市町村主体でため池ハザードマップを作成し、ホームページにて公表している。



ため池ハザードマップイメージ図

➡ 災害発生時の地域住民の迅速かつ的確な避難誘導を促し、人的被害を低減する。

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：前橋地方気象台、熊谷地方気象台】

『気象・防災情報の発信と防災教育の実施』

新規

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

（1）避難体制等の強化

④情報発信強化と防災教育の推進

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

【取組の概要】

● リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の配信

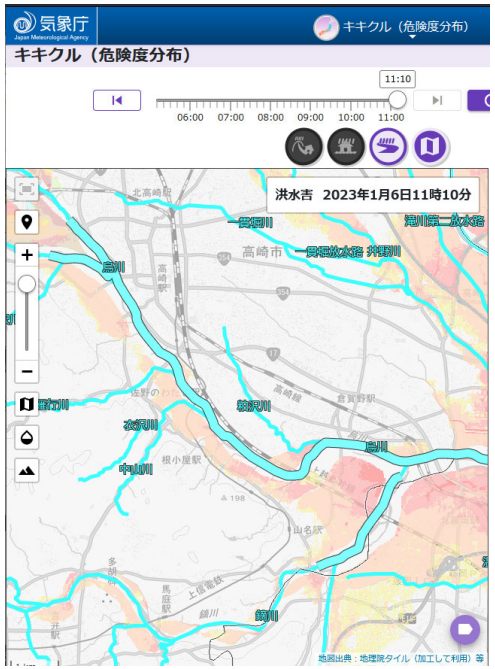
⇒浸水・洪水・土砂キキクルの配信、防災情報メール送信、台風説明会の開催　等

● 避難情報の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）の関連機関との連携

⇒自治体からのタイムラインや避難情報の判断基準の見直しの照会や自治体との意見交換　等

● 自治体や住民等に対する防災気象情報に関する理解促進

⇒出前講座や気象台見学、ラジオ出演、市町村防災担当者を対象とした気象防災ワークショップの開催　等



リアルタイム情報提供
洪水キキクルの配信（気象庁HP）

出前講座（富岡市一ノ宮公民館）

オンラインによる気象防災ワークショップ
（中小河川洪水編）

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）：東日本旅客鉄道、上信電鉄 】

『鉄道における洪水対策』

新規

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

（2）関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化

②鉄道構造物の災害対策強化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

【東日本旅客鉄道実施事例】

【上信電鉄実施事例】

■取組の概要

1． 目的

令和元年10月の台風第19号で流出した根固めブロックの復旧工事

2． 実施場所

東日本旅客鉄道：高崎線烏川橋梁　等

上信電鉄：上信線、馬庭駅から吉井駅間の鏑川にかかる橋梁　等

3． 取組実施により期待すること

台風等の豪雨災害時に鉄道橋梁の傾斜や流失等の被害を防ぎ、鉄道の安全性向上が期待される